
2018年1月期 第2四半期決算(連結)説明会

株式会社東京ドーム

目次

総括		3	東京ドーム		15
			LaQua(ラクーア)		16
【2018年1月期 第2四半期決算 実績】			東京ドームシティ アトラクションズ、ASOBono!(アソボーノ)		18
連結対象会社		5	黄色いビル		19
2018年1月期 第2四半期決算 実績		6	MEETS PORT(ミーツポート)		20
貸借対照表		7	飲食&物販		21
キャッシュ・フロー		8	東京ドームホテル		22
当社グループの事業セグメント		9	流通事業 shop in(ショッピングイン)		23
セグメント別売上高		10	不動産事業		24
セグメント別営業利益		11	熱海事業 熱海後楽園ホテル		25
			札幌事業 東京ドームホテル 札幌		26
【2018年1月期 第2四半期決算 主要施設の営業状況】			競輪事業 松戸競輪場 他		27
【営業状況】 東京ドームシティ事業			【2018年1月期 通期業績予想		
東京ドームシティ事業 総括		14	配当予想および業績予想の変動要因】		
			2018年1月期 通期業績予想		29
			2018年1月期 配当予想および業績予想の変動要因		30

※資料内、表における増減比較は、1円単位で計算しているため、表の数字の増減と合わないことがあります。

2018年1月期 第2四半期決算 総括

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員
長岡 勤

総括 ～中期経営計画「新機軸」アクションプランに沿って～

東京ドームシティに、将来にわたり持続的に価値をもたらすための環境整備に取り組みます。

- ・東京ドームリニューアル
- ・スパラクーアリニューアル

熱海後樂園ホテルのリニューアルに取り組みます。

- ・2019年春、新施設開業予定

東京ドームシティ内外において、新規事業の追求および新規顧客の獲得を目指します。

- ・「Audio guide Q」が星の王子さまミュージアム 箱根サン＝テグジュペリにて採用
- ・大人のための遊べる多目的ギャラリー「Gallery AaMo」開業

東京ドームシティ外の既存事業の事業性の維持と向上を目指します。

- ・shop in新業態「Crème et Rouge」オープン

グローバル化・ユニバーサル化を視野に入れた環境整備に取り組みます。

- ・営業用HP・施設ガイド・案内サイン等を3ヶ国語（英・中・韓）対応に更新中。

いつも安全・安心な環境を保ち続けることに取り組みます。

- ・グループ内インシデント情報の共有システム開始

人的資源の獲得・育成に取り組みます。

- ・グループ全体の教育を管理する「教育センター室」を新設

グループ経営体制の再構築に取り組みます。

- ・東京ドームシティ事業におけるマーケティングを行い、ブランド価値を向上させるマーケティング本部を新設

2018年1月期 第2四半期決算 実績

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
小田切 吉隆

連結対象会社

	18.1期 2Q	17.1期 2Q
連結子会社	12社	12社
持分法適用関連会社	2社	2社

2018年1月期 第2四半期決算 実績

(単位:百万円)

	18.1期 2Q	17.1期 2Q	増減	要因(17.1期 2Q比)
売上高	40,351	42,642	△2,291	<要因> 【減収】 ・熱海後樂園ホテル営業規模縮小 ※2016年8月末を以てみさき館、ホール棟が終了 ・東京ドームホテル 札幌営業終了 ※2017年4月末を以て全館営業終了 【増益】 ・投資有価証券売却益
営業利益	6,063	6,703	△639	
経常利益	5,392	5,657	△265	
税金等調整前 四半期純利益	7,060	5,482	1,578	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,995	4,108	886	
減価償却費	3,354	3,441	△86	・東京ドームシティ アトラクションズ一部償却完了 ・熱海みさき館営業終了に伴う除却
設備投資額	3,873	4,373	△499	・【増】東京ドームリニューアル、松戸競輪場バンク改修工事 ・【減】前期熱海タワー館工事分計上、今期無し
有利子負債額	151,584	160,068	△8,484	

貸借対照表

(単位:百万円)

資産	18.1期 2Q	17.1期 期末比	負債純資産	18.1期 2Q	17.1期 期末比
流動資産	27,866	-2,603	流動負債	55,984	-10,427
固定資産	271,927	485	固定負債	146,617	4,129
有形固定資産	234,722	83	負債合計	202,602	-6,298
無形固定資産	1,234	111	株主資本	31,731	3,782
投資その他の資産	35,970	291	その他の包括 利益累計額	67,586	932
繰延資産	2,126	534	土地再評価差額金	55,286	0
			純資産合計	99,317	4,714
資産合計	301,920	-1,583	負債純資産合計	301,920	-1,583

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	18.1期 2Q	17.1期 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,746	3,357	△1,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△715	△3,247	2,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,770	△779	△1,991
現金及び現金同等物の増減額	△1,739	△669	△1,069
現金及び現金同等物の期首残高	20,639	17,289	3,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,899	16,619	2,280

当社グループの事業セグメント

□ 東京ドームシティ事業

東京ドーム
LaQua
黄色いビル

東京ドームシティ アトラクションズ
MEETS PORT
東京ドームホテル 他

□ 流通事業

shop in

□ 不動産事業

アドホック新宿、プチモールニッ木
代々木イースト 他

□ 熱海事業

熱海後樂園ホテル

□ 札幌事業

東京ドームホテル 札幌

□ 競輪事業

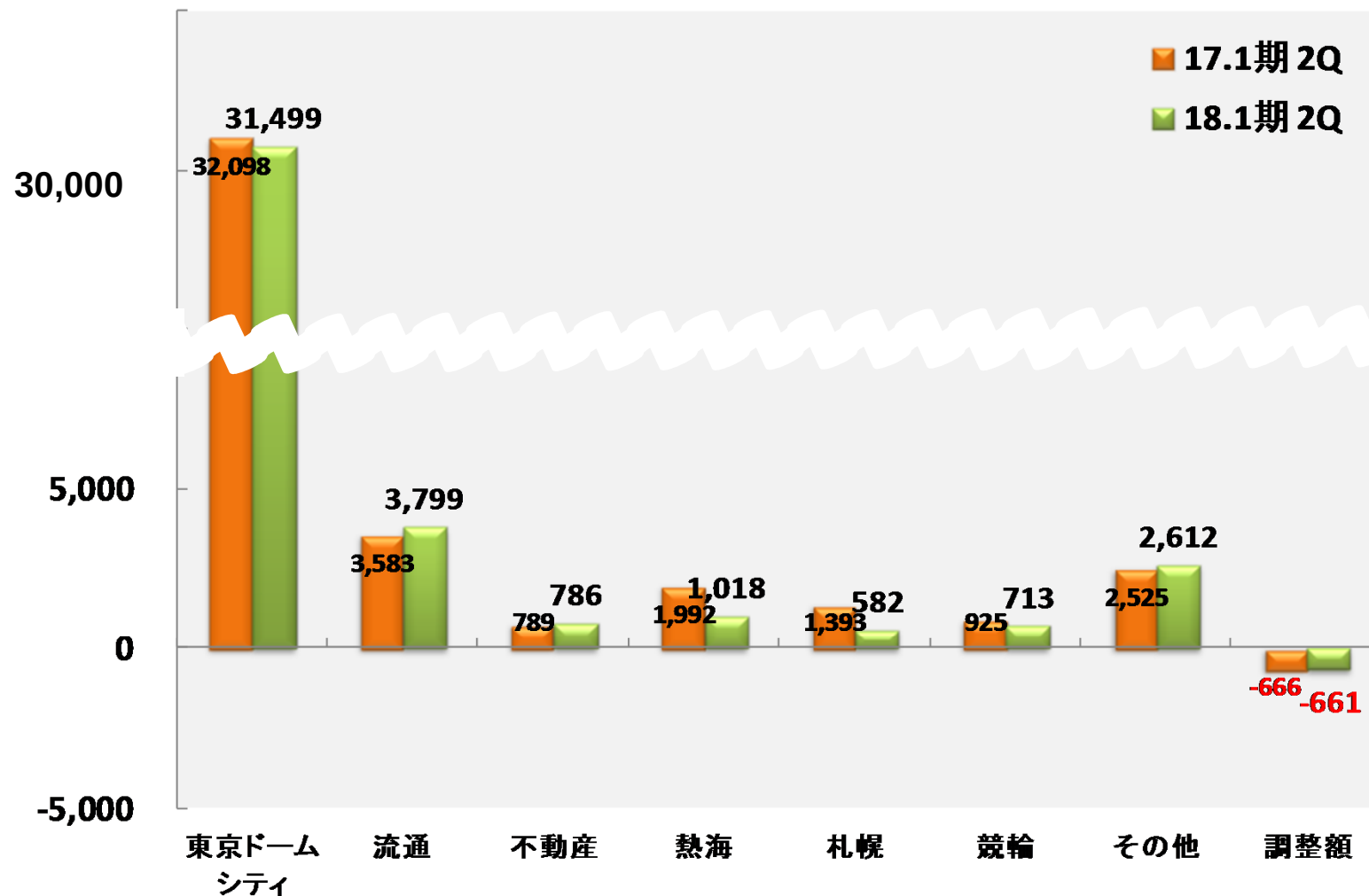
松戸競輪場 他

□ その他

スポーツ施設運営事業、
生命・損害・医療保険代理店事業、
有価証券の保有・管理事業、
有線テレビジョン放送事業 他

セグメント別売上高

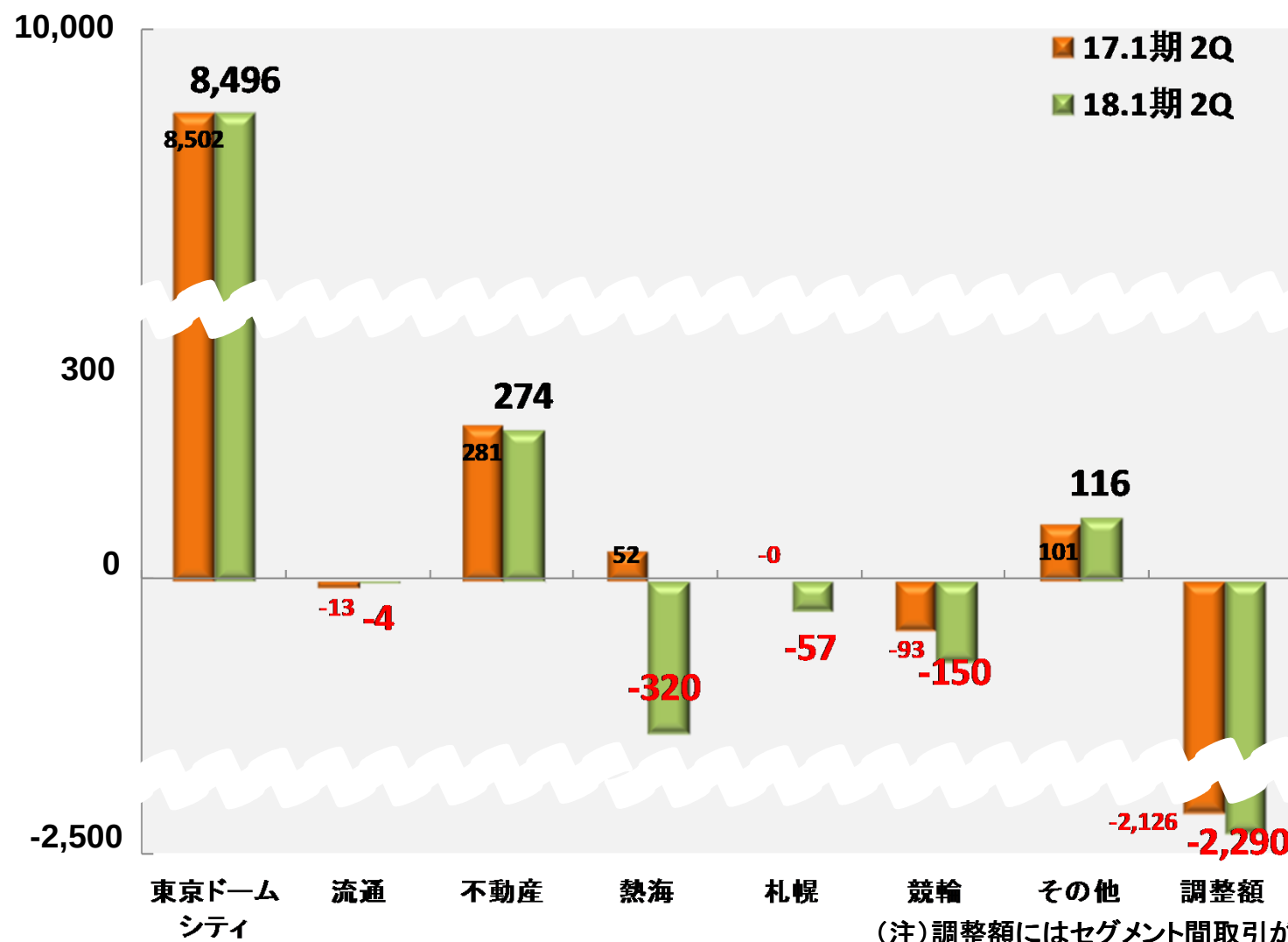
(単位:百万円)



(注)調整額にはセグメント間取引が含まれます。

セグメント別営業利益

(単位:百万円)



2018年1月期 第2四半期決算 主要施設の営業状況

(株)東京ドーム 代表取締役専務 執行役員
山住 昭宏

(株)東京ドーム 代表取締役専務 執行役員
野村 龍介

営業状況 東京ドームシティ事業



東京ドームシティ事業 総括

□東京ドーム関連

ワールド・ベースボール・クラシックの開催によりイベント収入は増加したが、コンサートイベント関連商品の販売が減少したことにより減収

□東京ドームホテル

客室稼働率の減少により減収

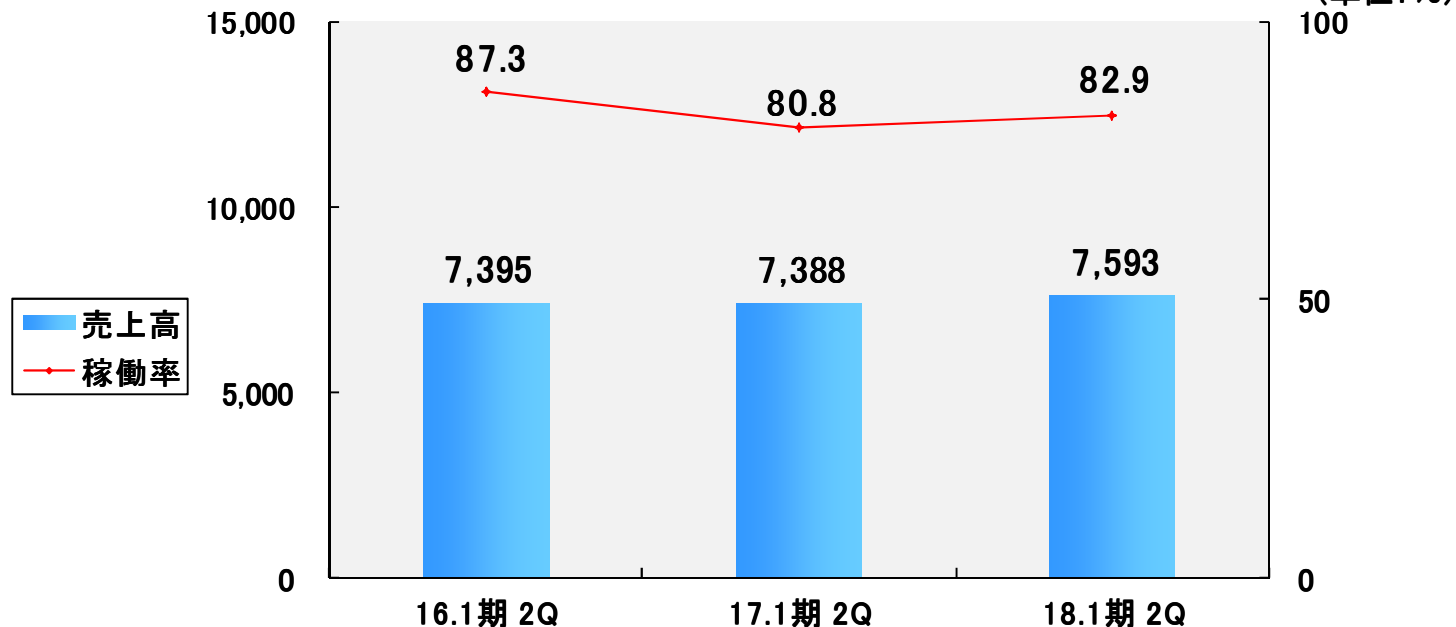
□LaQua

スパ入場者数の減少により減収

東京ドーム

(単位:百万円)

(単位:%)

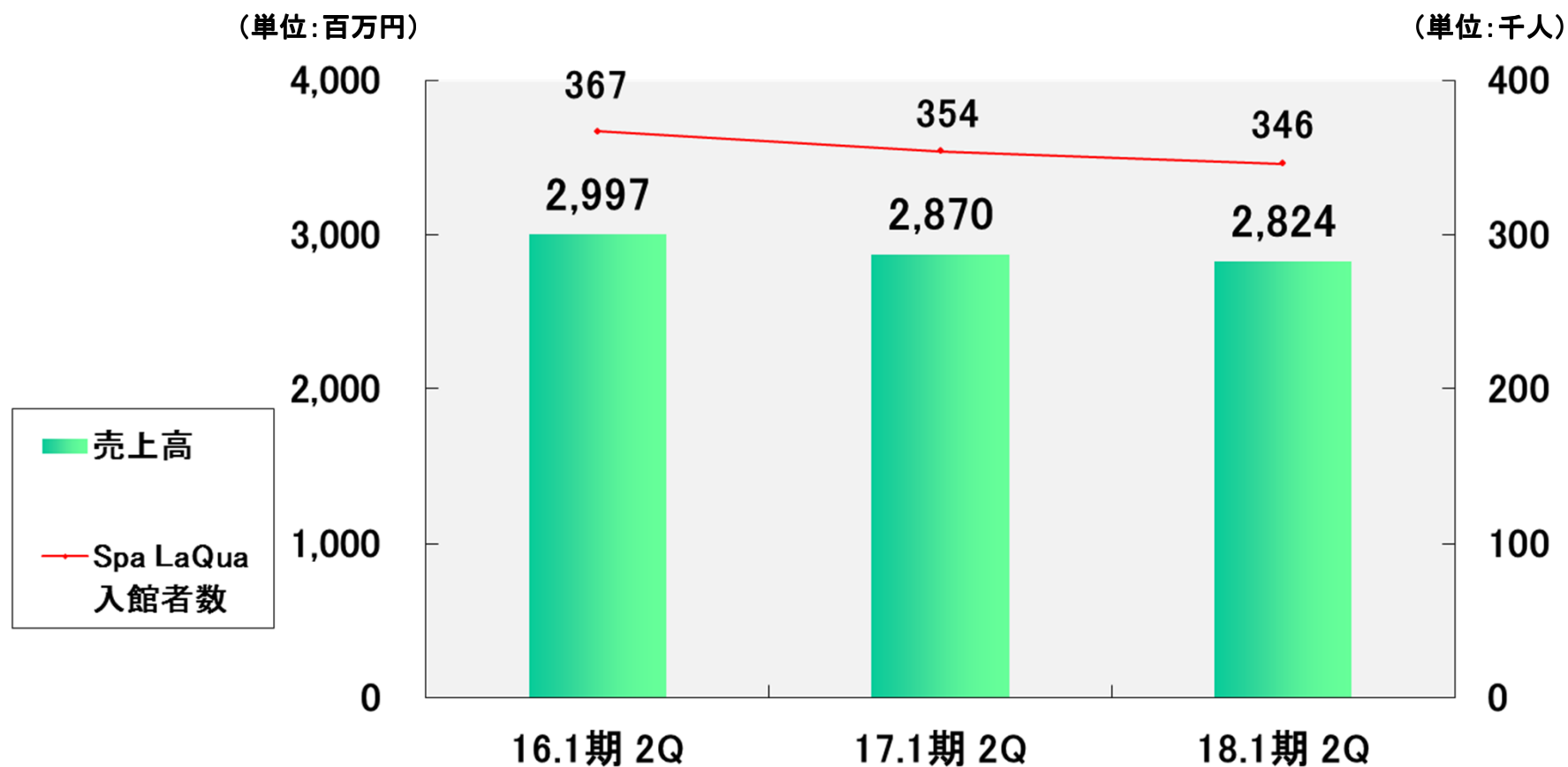


ジャンル別稼働日数	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
プロ野球 [内巨人戦]	55 [42]	56 [44]	58 [39]
その他野球	23	24	23
コンサートイベント ※	51 (26)	39 (20)	44 (21)
その他イベント ※	29 (23)	28 (22)	25 (19)
合計	158	147	150

18.1期 2Q 計画値	計画比
60 [39]	△2 [0]
23	0
46 (26)	△2 (△5)
22 (17)	3 (2)
151	△1

※ 設営日、撤去日を含む。()内は、イベント開催日数

LaQua(ラクーア)



参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
来街者数(千人)	7,075	7,062	6,970
各テナント売上合計(百万円)	6,636	6,661	6,708

Spa LaQua(スパ ラクーア) リニューアル概要

【リニューアルコンセプト】

「キレイになりたい」想いをかなえる より上質で、より快適な「癒しとくつろぎ」の空間へ



露天風呂(イメージ)

⇐男女スパゾーン内の露天風呂
エリアに「炭酸泉」を檜浴槽に
新設するほか、内湯の浴槽に
「酸素泉」を導入

男女スパゾーン内に、露天風呂⇒
エリアからそのまま入れる本場
フィンランド式サウナ(室温約70
度)を設置



フィンランド式サウナ(イメージ)



総合受付カウンター(イメージ) 提供: 竹中工務店

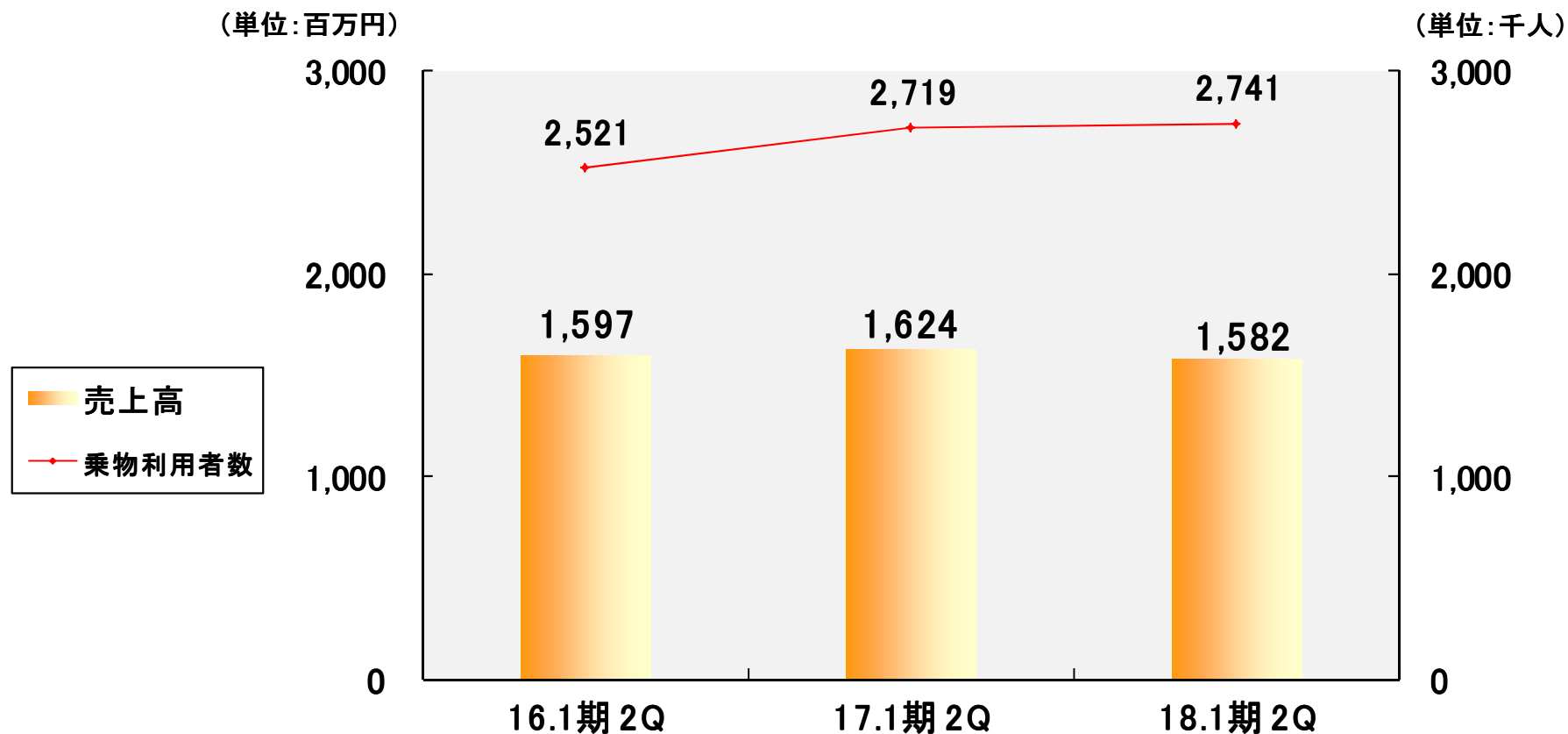
⇐トリートメント&ビューティーの
総合受付カウンターを新設する
ことで**利便性が向上**
受付スタッフと相談しながら
希望に沿ったメニューを提案

明るく居心地のよい空間で ⇒
多様なくつろぎ方を可能とする
休憩エリア「ラクーアリビング」を
新設



ラクーアリビング(イメージ) 提供: 竹中工務店

東京ドームシティ アトラクションズ、ASOBono!(アソボーノ)

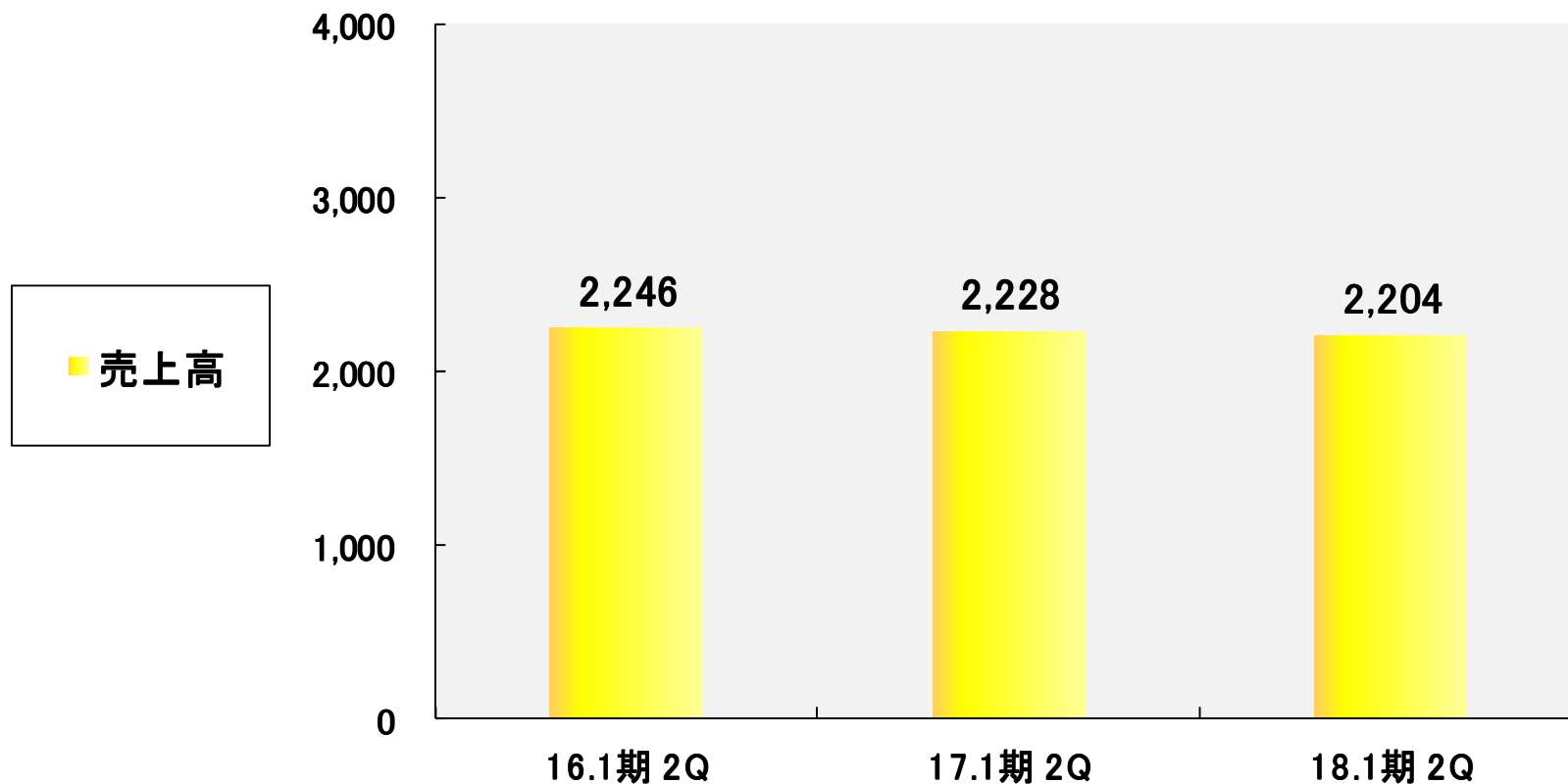


売上高内訳(百万円)	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
東京ドームシティ アトラクションズ 売上高	1,416	1,460	1,403
ASOBono!売上高	181	164	178

黄色いビル

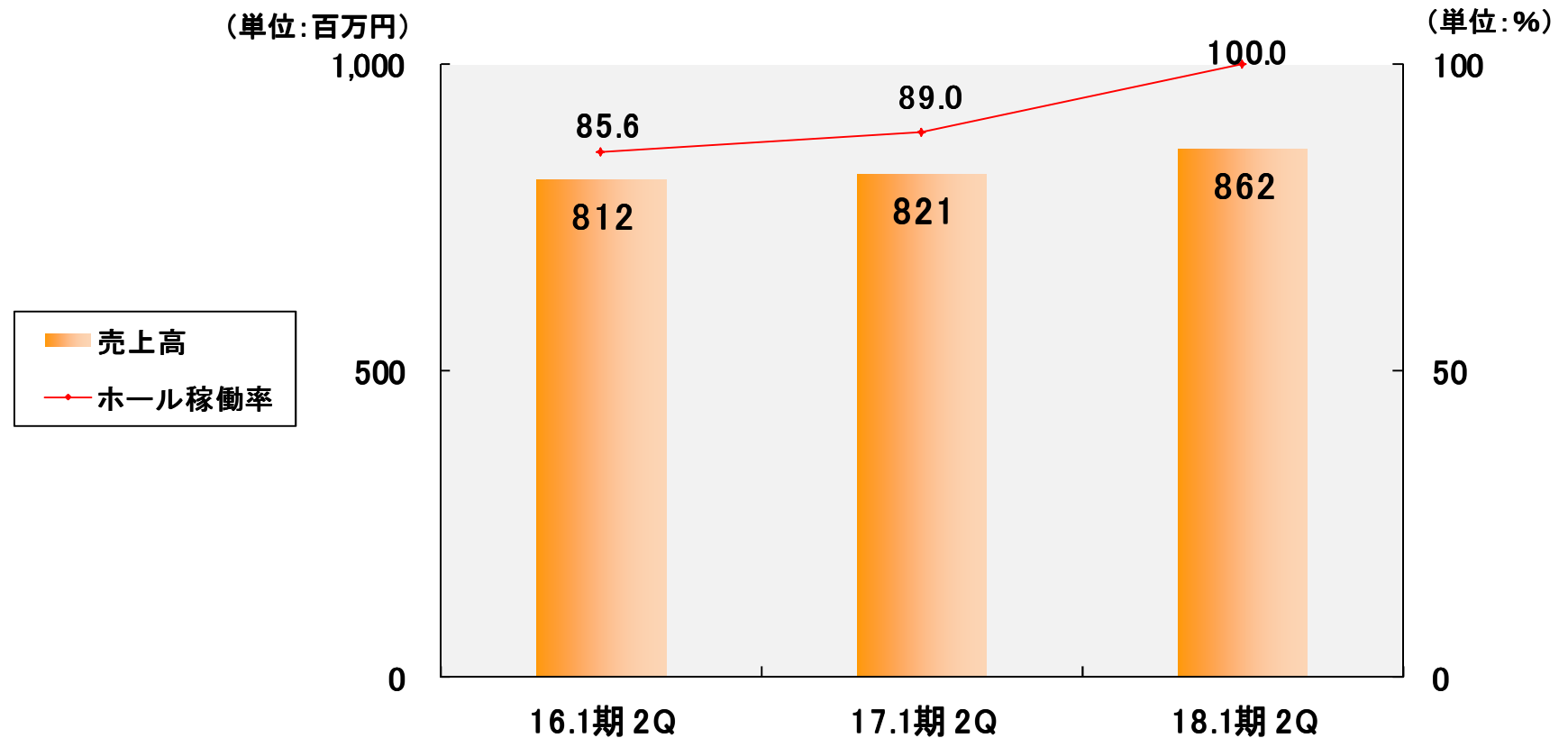
※売上高の主な内訳は、場外馬券場の賃貸収入となっています。

(単位:百万円)



参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
ウインズ開催日数	51	53	54
オフト開催日数	131	130	134

MEETS PORT(ミーツポート)

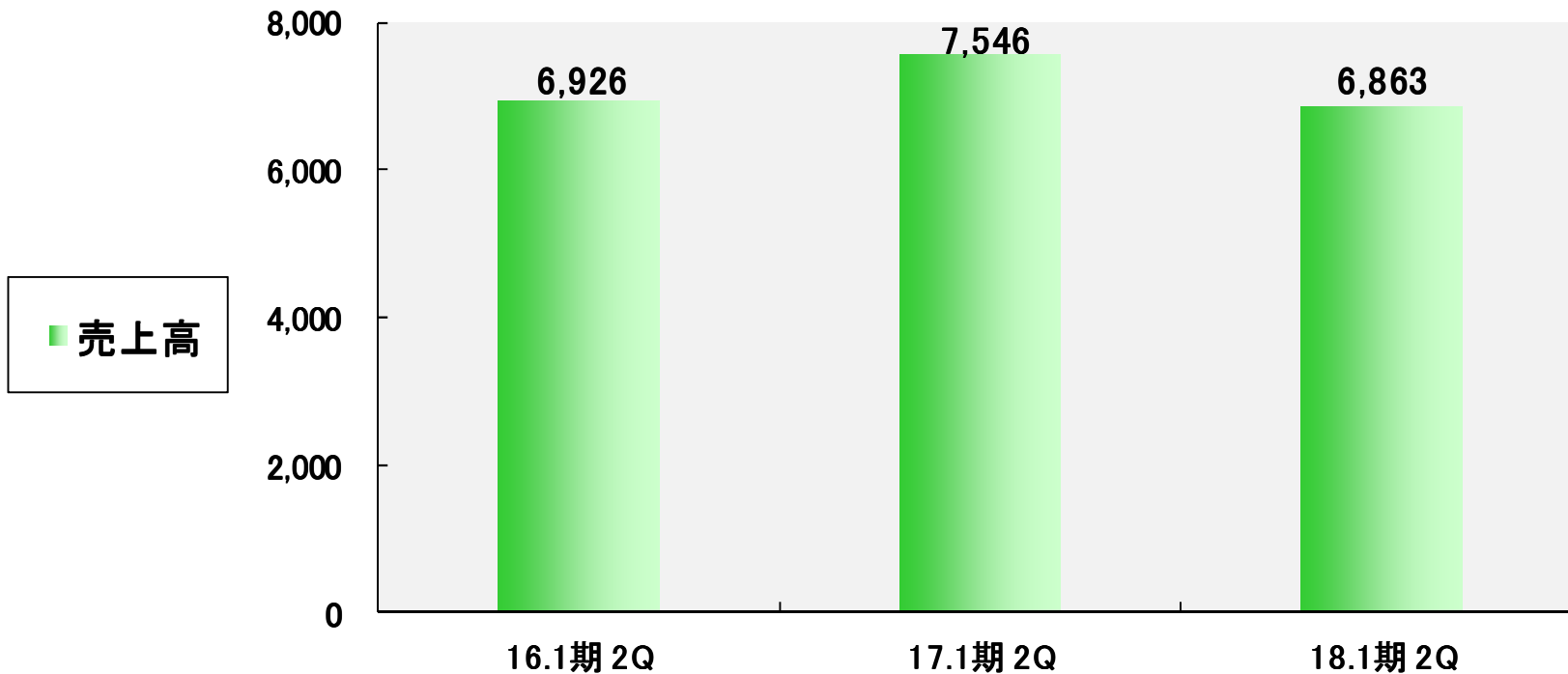


参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
ホール稼働回数 ※	155 (123)	162 (127)	181 (137)
ホール入場者数(千人)	191	210	237
各テナント売上合計(百万円)	2,787	2,793	2,818

※ 設営、撤去を含む。()内は、イベント開催回数

飲食 & 物販

(単位: 百万円)



売上高内訳 (百万円)	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
東京ドームエリア	6,383	7,002	6,320
黄色いビルエリア	232	219	188
アトラクションズエリア	183	199	206
後楽園ホールビルエリア	58	59	57
その他	67	66	91

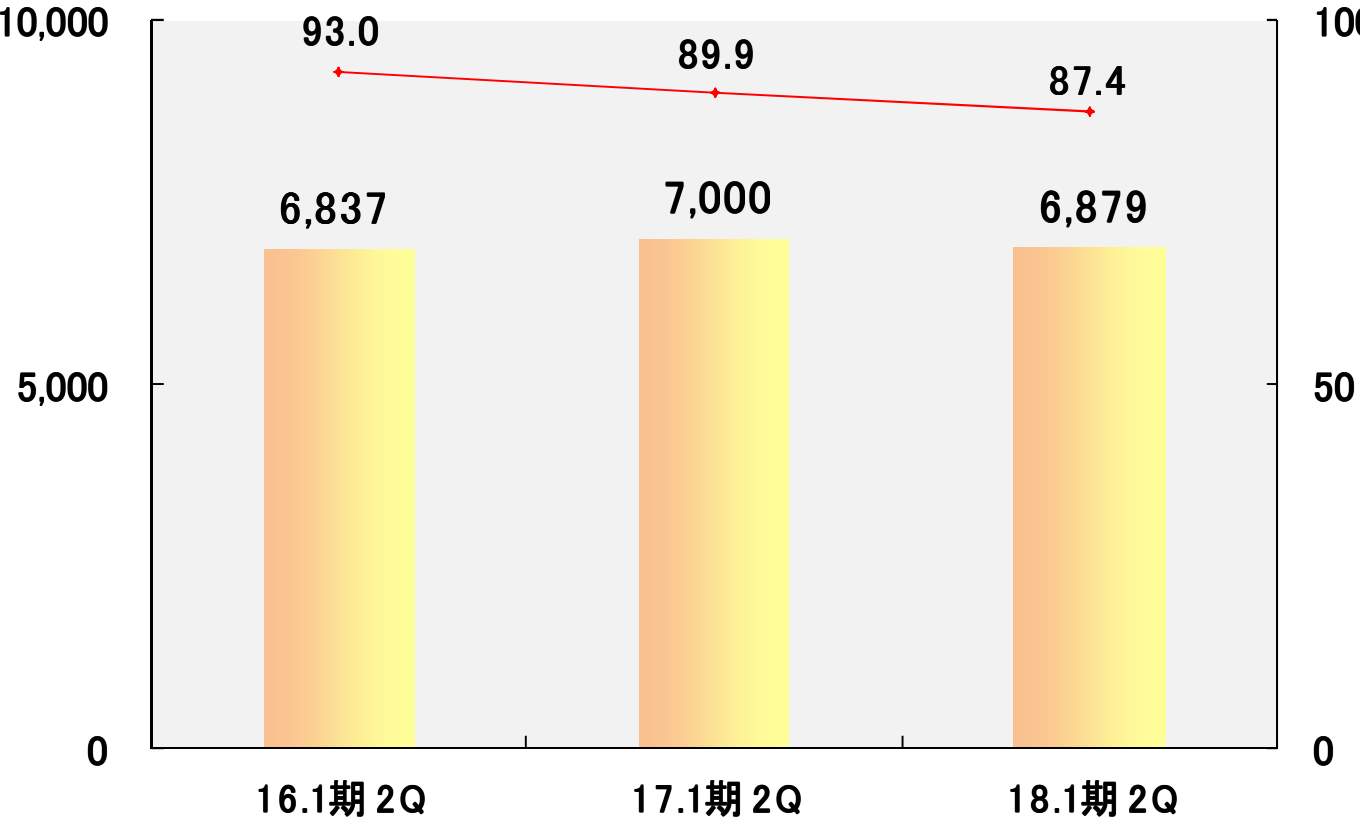
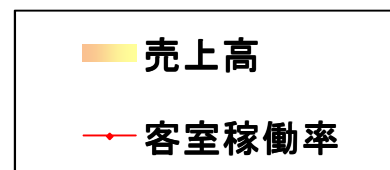
東京ドームホテル

(単位:百万円)

10,000

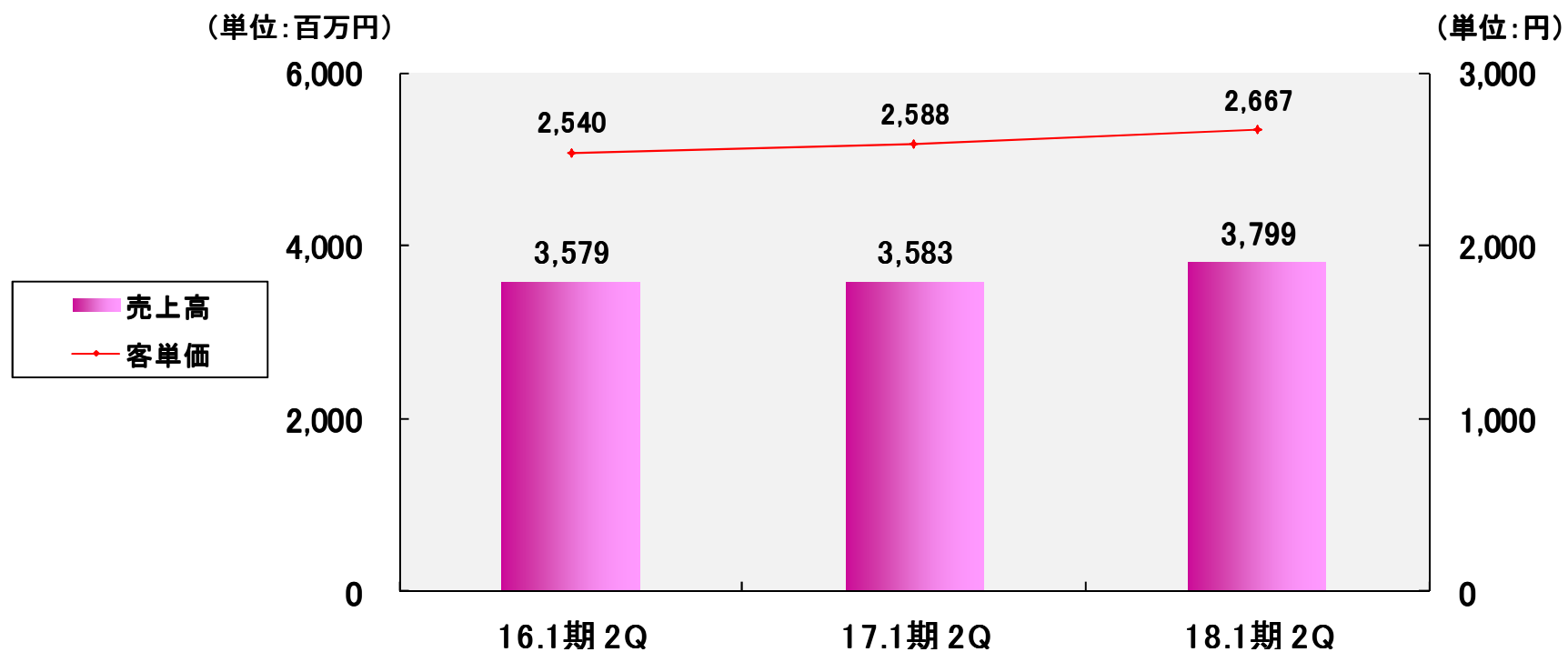
(単位:%)

100



参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
宿泊者数(千人)	273	264	253
宴会件数	1,124	1,107	1,106
婚礼件数	112	134	116

流通事業 shop in(ショッピングイン)



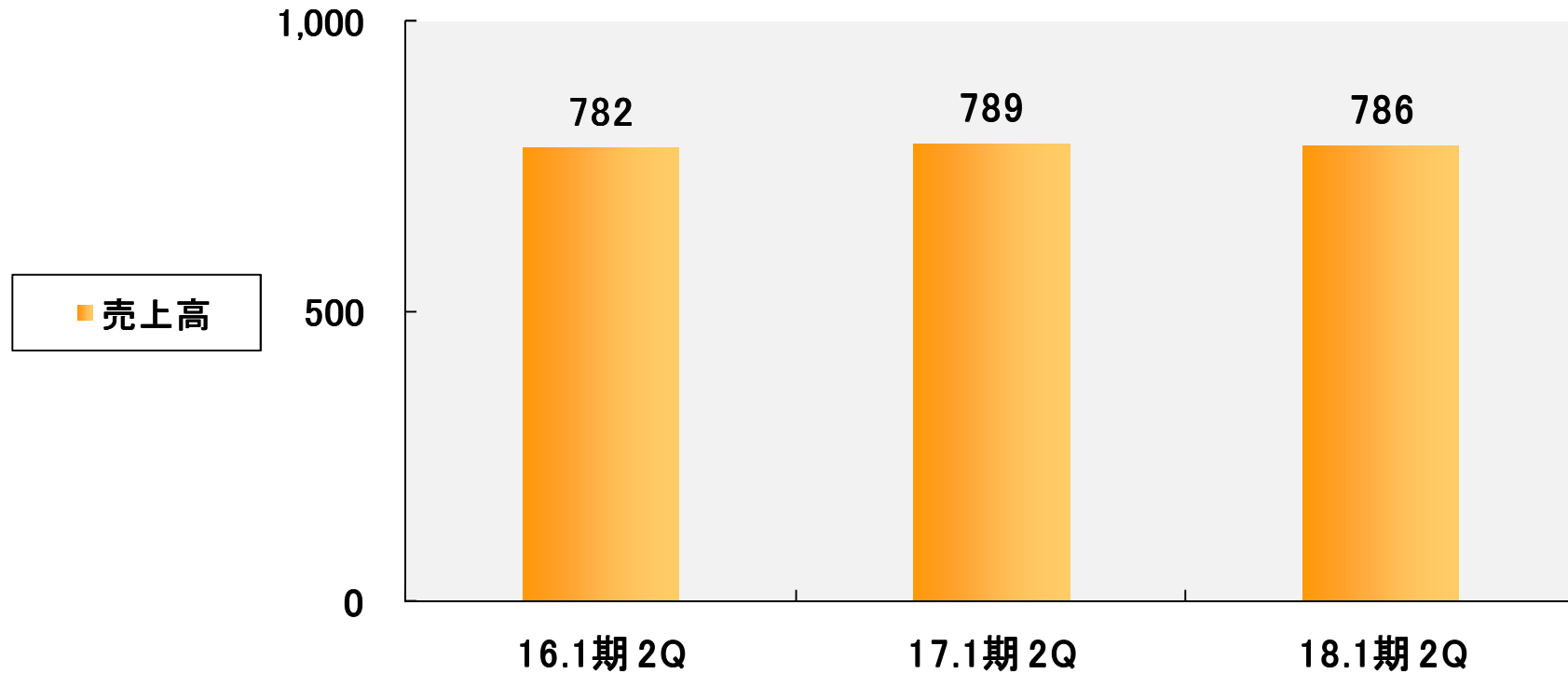
参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
月坪売上(千円)	353	370	388
店舗数	43	41	42

■新規出店:池袋ショッピングパーク(3/10) クレームエルージュ阪急三番街(4/27)

■退 店:たまプラーザ店(7/23迄)

不動産事業

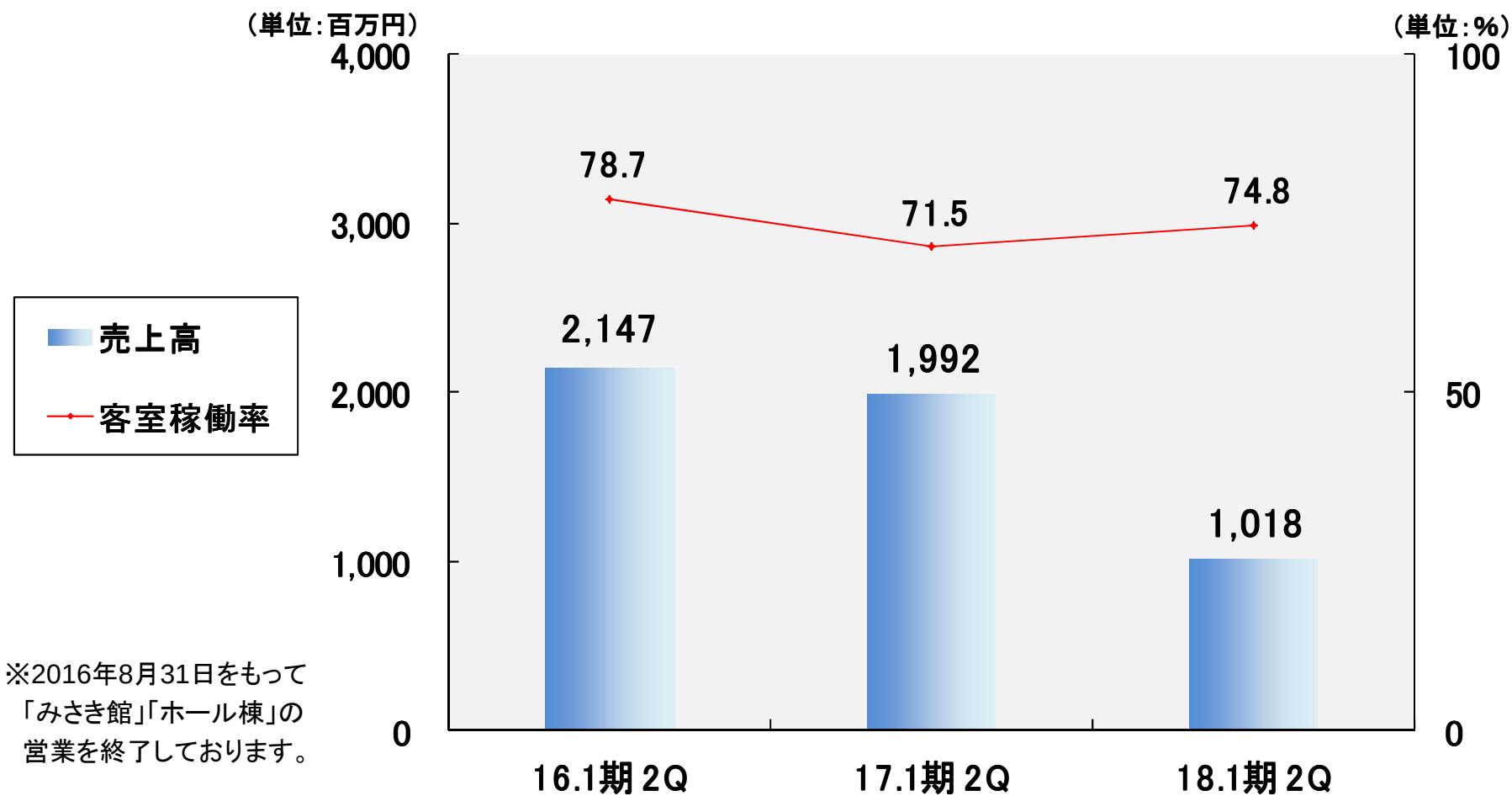
(単位:百万円)



主な所有物件

- ・アドホック新宿(新宿区)
- ・プチモールニツ木(松戸市)
- ・代々木イースト(渋谷区)
- ・柿の木坂BMW(目黒区)
- ・市ヶ谷ビル(新宿区)
- ・相模原ビル(相模原市)

熱海事業 熱海後樂園ホテル

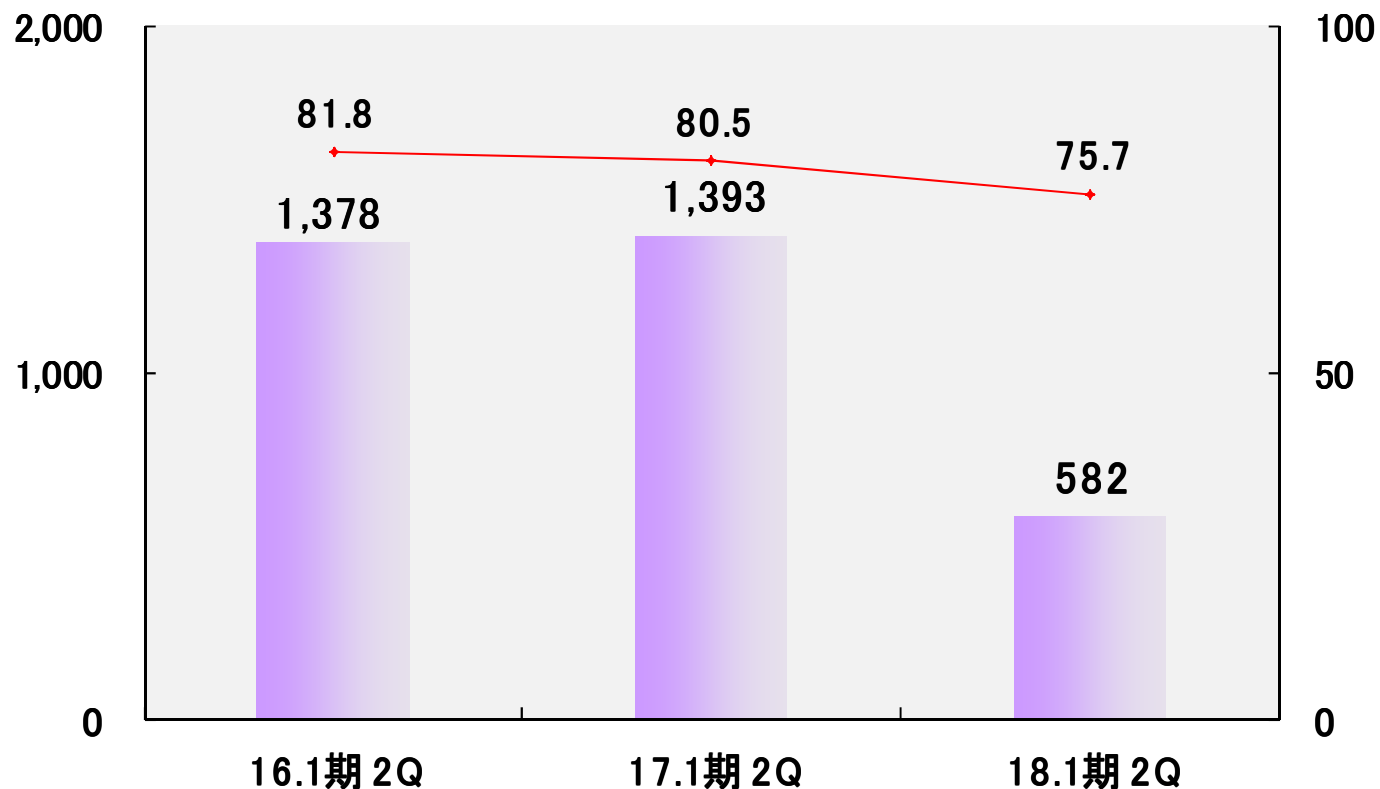
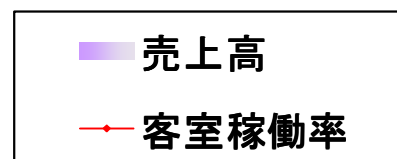


参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
宿泊者数(千人)	101	92	35

札幌事業 東京ドームホテル 札幌

(単位:百万円)

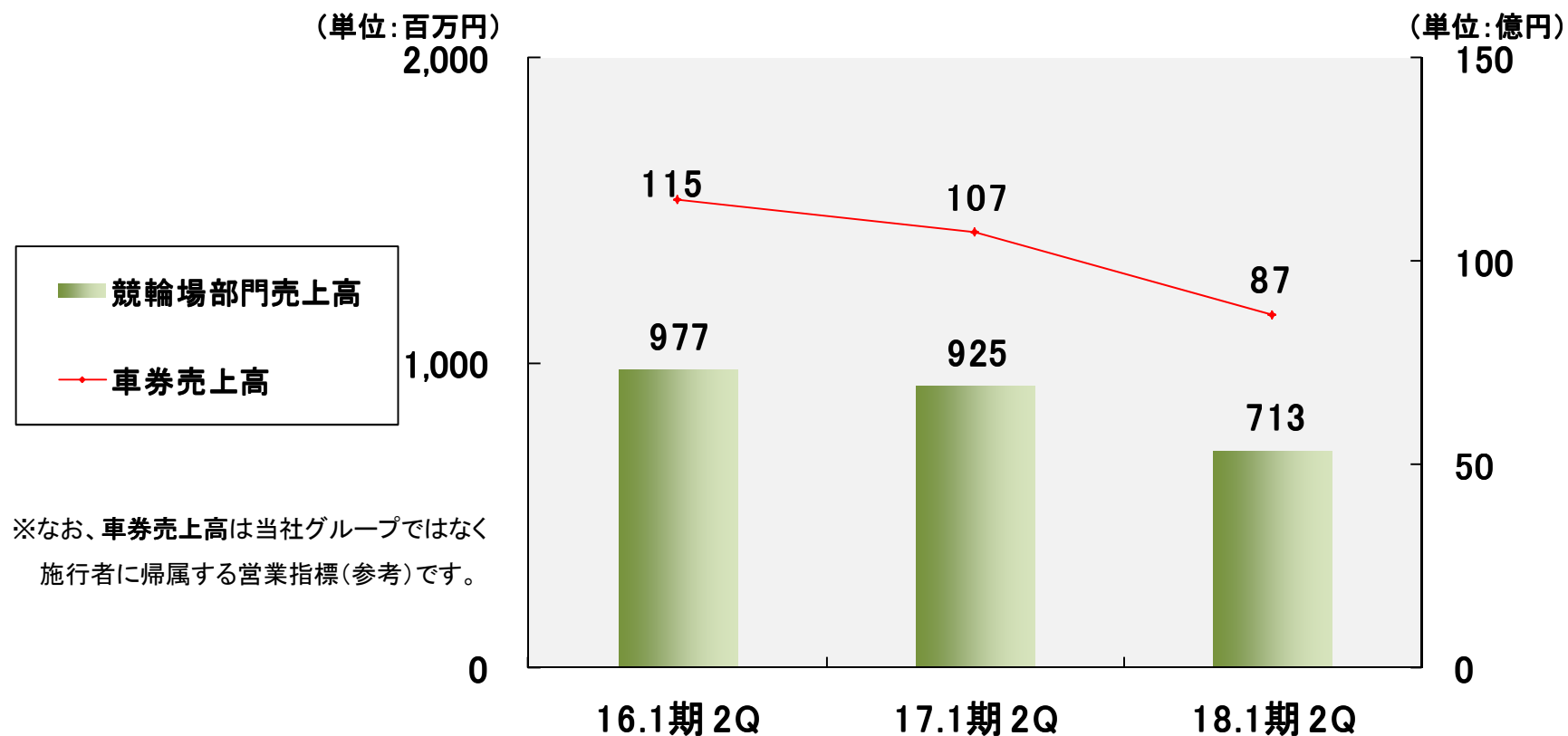
(単位:%)



※2017年4月30日をもって
営業を終了しました。
※当期は、1Qの数字です

参考	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
宿泊者数(千人)	73	72	33
宴会件数	1,339	1,340	582
婚礼件数	72	58	22

競輪事業 松戸競輪場 他



競輪場部門売上高内訳 (百万円)	16.1期 2Q	17.1期 2Q	18.1期 2Q
賃貸収入	267	254	188
運営受託収入	506	519	408
その他収入	204	151	117

2018年1月期
通期業績予想
配当予想および業績予想の変動要因

(株)東京ドーム 代表取締役専務 執行役員
野村 龍介

2018年1月期 通期業績予想

(単位:百万円)

	18.1期 予想	17.1期 実績	増減	要因(17.1期比)
売上高	82,000	87,761	△5,761	【減収減益要因】 ・前年開催のポストシーズンを見込んでいない ・ホテルの稼働率減少を見込む ・去年は好調であったコンサート物販を、平準化して予想 ・東京ドームホテル 札幌の営業終了による
営業利益	10,600	12,589	△1,989	
経常利益	9,100	10,771	△1,671	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,000	6,635	△635	
減価償却費	6,864	6,746	118	
設備投資額	11,020	7,652	3,368	・東京ドームリニューアル工事 第2弾 ・スパラクーア改修工事 ・熱海後樂園ホテル 複合型リゾート施設建設
有利子負債	147,700	152,034	△4,334	

2018年1月期 配当予想および業績予想の変動要因

■配当

14.1期	15.1期	16.1期	17.1期	18.1期
5円	6円	6円	14円	12円(予想)

※当社は、2016年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しています。

※2016年1月期以前の配当の状況につきましては、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しています。

■今期業績予想からの主な変動要因

- ・プロ野球ポストシーズンゲームの開催
- ・プロ野球やコンサートなどの東京ドームイベント関連収入の増加

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績予想等を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しましては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しましても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は(株)東京ドームに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。